

# 中小企業 サポートかながわ 1月号

第130号 2012年1月

編集/発行  
（公財）神奈川産業振興センター  
TEL 045(633)5201  
FAX 045(633)5222

## 2012年 年頭のごあいさつ

明けましておめでとうございます。

読者の皆さまにおかれましては、ご家族とともに希望に満ちた新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

年頭に当たり、皆さまのますますのご健勝とご発展をお祈り申し上げます。

昨年、政府が経済見通しを「景気は持ち直し、経済成長の好循環に向けた動きが進むことが見込まれる」としていましたが、一昨年11月から、景気動向の一致指数である鉱工業生産指数が改善したこともあり、年の初めには、今度こそ本格的に景気が回復するものと期待しておりました。

ところが、3月11日に発生した東日本大震災は、複雑に絡み合うサプライチェーンを棄損するなど、日本経済、さらには世界経済に大きな影響を与え、それに加えて日本経済の実態とかけ離れた「いわれなき円高基調」が継続したこともあり、日本経済は回復するどころか先行きの不透明感が増してしまいました。一部の産業・地域では東日本大震災前の水準まで回復しているものの、欧州の債務危機の激化による「超円高」の定着は、日本経済の先行きをますます不透明なものとしています。

そのような状況のなかで、昨年12月の「月例経済報告」は「景気は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にあるなかで、緩やかに持ち直している」としていますが、同時に、「電力供給の制約や原子力災害の影響に加え、欧州の政府債務危機などを背景とした海外景気の下振れや為替レート・株価の変動等によっては、景気が下振れするリスクが存在することに注意が必要である」としております。

また、KIPが実施した「平成23年10-12月期中小企業景気動向調査」でも、業況DIは2期連続して改善して震災前の水準まで回復しているものの、今後の改善は期待できず、やや下降すると見込まれています。今年は「辰年」であり、「竜は天に昇る」と言われていますので、「上昇の年」になると期待したいところですし、大震災からの復興需要の本格化などから景気回復の見方もありますが、当面、厳しい状況が継続するものと判断しております。

KIPが所有する「神奈川中小企業センタービル」は大震災で大きな被害を受けました。このため、ご入居いただいているテナントの皆さま、会議室および駐車場の利用者の皆さまにご迷惑をおかけしましたが、復旧工事もほぼ終了しました。今後、お客さまの満足度向上のため、サービスの改善に努めてまいりますので、ご愛顧くださいますようお願いいたします。

また、昨年6月1日に平成20年12月1日に施行された「公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律（公益財団認

定法）」に基づく「公益財団法人」に移行しましたので、これまで以上に中小企業の皆さまに信頼され役に立つ支援機関となるため、新たな取り組みを行ってまいります。

まず、今年は、KIPの職員をなるべく多く皆さまのところに伺わせませす。皆さまの事業活動の現場である「工場」「商店」などを見せていただき、経営者あるいは従業員の皆さまの話を伺い、「皆さまが何に悩み、何を考え、何をしようとしているのか」を知る。そして、その「何か」を解決するために、すでに用意している支援策を利用させていただきだけでなく、新たな課題、これまでの支援策では解決できない課題を解決するための新たな方策を考える。そういうプロセスを繰り返すことにより、KIPは皆さまのお役に立てるようになると思います。

もう一つは、KIPを知っていただくことです。私どもだけでなく、行政や公的支援機関はさまざまな広報活動が下手で、私どもが発信する情報は、その情報を知っていただきたい方や必要とされている方にうまく伝わっていません。KIPについて考えてみますと、私どもが実施している支援事業だけでなく、私どもKIPの存在すら知らない方が多いのが実情です。

そこで、KIPでは、ホームページの全面見直しを行うこととしました。1月から職員対象の研修を行い、職員にインターネットを自在に活用できるスキル、ホームページの魅力的なコンテンツの作成・更新のスキル、そして、オンラインで皆さまのご要望やニーズを的確に把握できるスキルを身に付けさせます。そして、職員自らの力で、4月以降、KIPのホームページを、ブログ、ツイッター、フェイスブックなども取り入れた斬新なものに生まれ変わらせます。どうぞご期待ください。

私どもKIPは、「中小企業の役に立ち、中小企業に信頼される中小企業支援機関」になるために、「相談」「情報提供」を入口に、お客さまである中小企業の皆さまのご要望に応じて、「経営安定・経営革新支援」「創業促進・事業拡大支援」「販路開拓支援」「資金支援」「国際化支援」などを実施しております。ただ同じことを繰り返すのではなく、支援事業の効果を高めるために、PDCAサイクルを回しながら、社会・経済状況の変動、中小企業の皆さまの支援ニーズの変化などを踏まえた改善に努めてまいります。

KIPは、中小企業の皆さまのどのような経営課題にも対応します。と一緒に解決策を考え、直面する高く厚い壁を突き破ってまいります。どうぞお気軽にKIPにご相談ください。

本年も、どうぞよろしくお願ひいたします。

公益財団法人神奈川産業振興センター  
会長 神谷光信

# 2月2日(木)パシフィコ横浜(会議センター)で開催

～「かながわビジネスオーディション2012」発表プラン・アイデア決定！～

平成8年にスタートし、今回で第16回を迎える“かながわビジネスオーディション”。昨年7月から始まった第1次審査を皮切りに、約半年間にわたる3次の審査を経て、最終審査に選ばれた応募プラン・アイデア35件が決定しました。

夢の実現に向けまい進する挑戦者たちの熱いプレゼンを、ぜひ聞きにきてください。

## ●県下最大の工業技術見本市「テクニカルショウヨコハマ2012」と同時開催！

昨年、初めて「テクニカルショウヨコハマ」と同時開催した「かながわビジネスオーディション」ですが、アクセスの良さもあり、例年以上に多くの皆さまにご参加いただきました。今年もパシフィコ横浜で「テクニカルショウヨコハマ2012」の会期中(第2日目)に開催します。

## ●来場者も審査員！

当オーディションでは、来場者の皆さまの投票により決定する「来場者賞」を設けています。ご来場いただき、「すばらしい！応援したい」と感じたプラン・アイデアに、審査員として1票を投じてください。

皆さまの応援で発表者が未来に向けて大きな一歩を踏み出します。

### －開催概要－

- 日時 2月2日(木) 12:00～20:00 (来場者受付は11:30～)
- 会場 パシフィコ横浜 会議センター3F
- プログラム
  - 12:00 開会式～発表者の紹介～
  - 13:00 プレゼンテーション
  - 17:00 表彰式～発表者表彰～
  - 18:30 交流パーティー (有料)
- 定員 300人
- 参加費 無料 (交流パーティー：一般3,000円、学生1,000円)
- 申し込み
  - ホームページからまたは住所、氏名、TEL、交流パーティー参加有無を明記の上、E-mail、FAXでお申し込みください。
  - ※ 交流パーティー参加希望者は、1月25日(水)までにお申し込みください。

## 「かながわビジネスオーディション2012」開催当日の発表プラン・アイデアと発表者

プラン部門	スマートフォン、タブレットPC向けデータ消去装置	リ・パース(株)	天然有機物を使用した抗菌性環境樹脂「ユニペル」	(株)ユニオン産業
	日中は、着てはいけないうエア！ 疲労回復を目的とした「リカバリーウェア」の開発	(株)ベネクス	SPRを用いた微生物、ウイルスの検出装置の開発	サガミ計測(株)
	二層式冷却水循環型業務用フライヤー	(株)カラット	里山を活かした、こどもの遊び場とおとなのコミュニティサロン	つくい士沢の雑木林を楽しむ会 (仮称)
	軽トラッククレーンの製造販売 名称 KARUGARU(かるがる) 1型 2型 3型	横浜エクステリア(株)	あたらす箱プロジェクト	木原洋美
	使用済天がら油をできるだけ単純に燃料化し、時代にあった石油代替燃料にする	ia corporation(株)	難聴の方と円滑で自然な対話ができるエコで衛生的な「伝声器ケアホン」	ケアホン協会 (同)
	高所壁面走行作業ロボット	(株)小川優機製作所	社会問題となっている畜産臭を解消し、畜産業を市民の憩いの場として活かすまちづくり	豊田孝義
	新放熱技術を採用した高輝度LED照明器具の開発	シンクロテック(株)	オーダー即納品 コンパクトファクトリー	ふるさわほくと
	100%天然素材の内装仕上げ塗材「エコ・ゼロライト」 (登録商標出願中)	ライフライン(株)	企業廃材をアイデアによってかっこいい製品に再生する	(株)ネオステージ
	藤沢本町 さつまや本店「プロの寿司職人が教える寿司教室」とクロスメディア活用宣伝	(株)さつまや	タンブラー型ICT情報事業Dricos (ドリコス)	Dricos
	リアルタイムシミュレータを内蔵した電子書籍「IS Book」の販売・サービス拡大	(株)マイクロネット	楽しみながら都市の緑化が出来る「参加型緑化手法」の提案	東京都市大学環境情報学部環境情報学科田中章研究室
	アグリサーバを用いた広域農業情報クラウド	(資) 次世代技術	リディラバーみんなが社会問題をツアーにして共有・発信するプラットフォーム	リディラバ
	写真をアップするだけで切り抜かれた商品画像が送られてくる切り抜きWebサービス	(株)とことん	アパレルブランド「大和」	小野電介
	日本発のアンブレライノベーション「スパイロ」	稲光産業 (有)	血液の清浄システムを応用し、潤滑油の半永久的な使用を可能とするプラン	(株)住本科学研究所
	<i>Rhizopus Oligosporus</i> を用いた新規食品の製造・販売	(株)テンベストフーズ	大学の障がい者雇用促進プロジェクト	HIMプロジェクト
	生態系エコロジー～街角の健康、街角のコミュニティ、街角の雇用創出を目指して～	(株)サンフォーレ		
3つの「しよくいく」を通じての安心・安全な学童保育の開設	m9コンサルティング			
従来の技術、コロナ放電技術の未来型・除菌消臭器 特許第4551977号	(株)片野工業			
ワンコア型LEDリフレクターおよび照明器具の開発	(株)イフェクト			
コスト1/2! ローメンテナンス! ニッポン中の校庭をウレタンで緑化	アップコン(株)			
船舶(機関室)用LED照明器具の製品化	(株)東科精機			
「妊娠前から始める、授かる心と体の準備」の大切さを広めようプロジェクト	自然療法サロン テノヒラ			

※ 起業・創業に関心のある方、ビジネスパートナーを求めている企業、ベンチャーキャピタル、個人投資家、金融機関等の皆さま。ぜひ会場へ足をお運びください。

### ●申し込み・問い合わせ

かながわビジネスオーディション実行委員会事務局  
(KIP事業化支援課内)

☎ 045(633)5203 FAX 045(633)5194

ホームページ <http://b-audition.kipc.or.jp/ba2012/>

E-mail [venture@kipc.or.jp](mailto:venture@kipc.or.jp)



## 多彩なイベント等を集中的に実施し、 中小企業を応援します

～2月は神奈川県中小企業活性化推進月間です！～



中小企業応援  
キャラクター  
「すくすくん」

県では、2月を「神奈川県中小企業活性化推進月間」とし、地域産業力の強化に向け、中小企業の活性化の推進に取り組んでいます。

今年も県、市町村、商工会・商工会議所、中小企業支援機関、企業団体などが連携し、中小企業の経営者や創業希望者、従業員の方々向けのイベントや講習会、相談会等を実施します。

県内各地で創業・技術・経営・人材育成支援のほか、さまざまなジャンルで魅力的なイベント等を数多く集中的に実施します。日頃の経営等の悩みや課題等の解決、さらには業務の参考に、「中小企業活性化推進月間」で実施されるイベントを、ぜひご活用ください。

- 期間 2月1日(水)～29日(水)
- 会場 県内各地域
- 支援事業 イベント、講習会、相談会等

- 問い合わせ (事業全体について)  
県産業活性化課産業活性化グループ ☎ 045(210)5558  
ホームページ <http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f5747/>

※ イベント等の日程は、リーフレットやホームページに掲載します。  
なお、各イベント等の詳細については、実施団体に直接ご確認ください。

2/1～3は  
パシフィコ横浜へ



### 県下最大の 工業技術見本市に ぜひご来場ください！

～「テクニカルショウヨコハマ2012」  
開催のご案内～

“かながわビジネスオーデション2012”と同じパシフィコ横浜(展示ホールC・D)で、2月1日(水)から3日間開催される「テクニカルショウヨコハマ2012」。

第33回を迎える今回は、県内を中心に前回は上回る約400の企業・団体が最先端の工業技術・製品等を出展します。

また、世界で事業を展開する中小企業の経営者による記念講演会や、中小企業の経営に役立つ各種セミナーといった併催行事も充実し、来場者にとっては出展者との商談や技術交流のみならず、さまざまな情報収集の場としてもご活用いただける見本市です。

入場無料。ぜひこの機会をご活用ください！  
多くの皆さまのご来場をお待ちしています。

※ 出展者情報や併催行事・セミナー案内、また入場の事前登録はホームページをご利用ください。

- 問い合わせ  
事業課 ☎ 045(633)5170  
ホームページ <http://www.tech-yokohama.jp/tech2012/>

### 中小企業新商品開発等 支援事業補助金のご案内

県産業技術センターでは、平成24年度に中小企業が行う新商品・新技術開発や販路開拓を支援するため、補助金の交付を希望する企業を募集します。

- 申請要件  
次の応募枠ごとに要件があります。
- <新技術枠>
  - ・県内に事業所を有し、製品の製造加工等を1年以上行っていること。
  - ・「創造的新技術研究開発計画」の認定を受けていること。
- <下請枠>
  - ・県内に事業所を有し、製品の製造加工等を1年以上行っていること。
  - ・KIPの下請企業振興事業の受注登録企業であること。
  - ・特定の親事業所との取引額が全取引額の10%以上を占め、かつ、下請取引額の減少が予測されること。
- 募集期間  
2月13日(月)～2月24日(金)

※ 詳しくはお問い合わせください。

- 問い合わせ  
県産業技術センター技術支援推進部開発支援室  
☎ 046(236)1500 (内線2134)  
ホームページ [http://www.kanagawa-iri.go.jp/info/H23/20110728\\_grant-in-aid/20110728-grant-in-aid.html](http://www.kanagawa-iri.go.jp/info/H23/20110728_grant-in-aid/20110728-grant-in-aid.html)

# 今、この企業に注目

企業インタビューシリーズ<sup>35</sup>

## アートとサイエンス、ビジネスのナビゲーターに、有限会社ト・ヘン

今回注目した企業は、昨年の「かながわビジネスオーディション2011」で、奨励賞と実行委員会構成団体賞のダブル受賞を果たしたト・ヘンです。作曲家として活躍する代表の佐野芳彦氏にオーディションの感想や受賞後の事業展開、さらに受賞プラン「サウンドセル」の今後の可能性などについて伺いました。

### Q オーディション受賞後、約1年が経過しました。事業の進展はありましたか？

パシフィコ横浜での最終審査を見た方の紹介の紹介で、今アジアの通信会社に対するコンテンツ提供の商談が進んでいます。また、同じく最終審査を見て、当社の技術「サウンドセル」を商品に組み込みたいという話もあったのですが、こちらは震災の影響で中断しているところです。



「かながわビジネスオーディション2011」の表彰式。写真右から3番目が代表の佐野芳彦氏

### Manager's View



佐野芳彦氏

アートとサイエンス、ビジネスの融合をナビゲートする役割を果たしていきたい

### Q 約半年間にわたる審査はいかがでしたか？

事業計画書の作成には苦勞しました。これまでにない技術、商品を展開しようとするなかで、その市場規模をどのように算出すればいいのか？ウソはつけられない、悩みました。もう止めようかと思った時期もありましたが、事務局のサポートもあり、何とか続けられました。あと、当社の技術は「音楽」がキーなので、書面で理解してもらえるのかという不安もありました。

### Q さて、受賞プランについてお聞かせください。

受賞プランの「サウンドセル」とは、さまざまな情報から音楽を自動生成するシステムです。例えば、「明・暗」や「動・静」などの情報に対して、音楽をド、レ、ミといった形ではなく、1つの旋律を割り当て、それをつなげることで音楽を構成します。いわば誰もが簡単に、積み木や言葉を組み立てるように音楽を創ることができるのです。

### Q 具体的にどのような活用方法があるのですか？

これまでに携帯電話での会話の気分、声のトーンなどを計測した情報からの音楽創りや、病院のロビーで患者数や

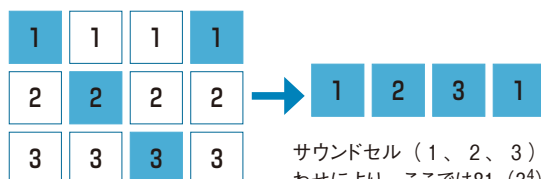
心を和ませるよう24節気のイメージなどの情報に基づき自動演奏するピアノに、「サウンドセル」の技術が活用されてきました。

### Q さまざまな情報から音楽が創られるのですね。今後、特に注力していきたい分野はありますか？

教育と医療の分野に注目しています。作曲家として、今の楽器や音符を覚えて学ぶ音楽教育が本当に子どもの発達に良いのか疑問を持っています。子どもは音そのものに敏感に反応し、集中して聞き入ります。もっと音を身近なものにできれば、子どもの集中力は高まり、能力向上に結びつくはず。自ら音楽を創れる「サウンドセル」は、子どもの音楽教育に有効だと思います。

### Q 音楽療法など、医療と音楽の関係もよく耳にします。

科学的根拠はまだ解明されていませんが、当社も大学等と連携し、「サウンドセル」を活用した認知症や発達障害の治験に参加しています。時間はかかるかもしれませんが、この分野も社会的ニーズが高いものです。当社は今後、これまでアートとされてきたものをサイエンス、ビジネスに結びつける事業展開を図りたいと考えています。



サウンドセル（1、2、3）の組み合わせにより、ここでは81（3<sup>4</sup>）通りの音楽の自動生成が可能。セルを選択する情報はさまざまなものが想定されている

サウンドセルの概念図

### 有限会社ト・ヘン

所在地 川崎市麻生区高石5-13-5-302

☎ 044(281)0883

ホームページ <http://www.tohen.com/>

●問い合わせ 経営企画室 ☎ 045(633)5201

# 自店と地元、両者の活性化に向けた若手商業者の挑戦

## マツシタ靴店<後編>

“ギョサン”がヒット商品になったマツシタ靴店ですが、店舗の経営環境は決して楽観できるものではありません。大手チェーン店との競合や市街地の活力低下といった問題を抱えています。そこで、同店の4代目松下善彦氏は店舗の経営改善に取り組むとともに、街の魅力を高めるために他の商業者と一体となって、さまざまな活動を展開中です。

### 専門家のアドバイスで経営改善

城下町として歴史・伝統を誇る小田原。その中心市街地にあるマツシタ靴店も今年創業95年目を迎える老舗です。長く地域に愛され、商売をしてきた同店もここ数年の環境は厳しく、今後の事業立て直しに向けて、これまでとは異なる商売の手法が必要になっていました。そこで、KIPの支援により専門家のアドバイスを受けるようになったのです。

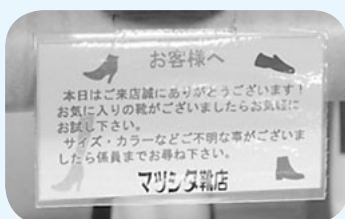


マツシタ靴店のギョサンキャラクター「ギョッピーくん」

「県の紹介を受けて、KIPの支援事業を利用しました。派遣してもらった専門家からは、店頭での接客・接客管理、ホームページの見せ方など、具体的な経営改善手法のアドバイスを受けました。まだすべてはできていませんが、これからも継続して取り組んでいくつもりです」と、松下氏は語っています。

このなかでも松下氏が今後特に注力したいとするのが顧客管理です。専門家から他地域の同業者を紹介してもらい、勉強会にも参加。顧客名簿の作成から顧客管理の方法、それを活用した販促方法を学んでいます。

「お客さまもこれからどんどん替わってくるでしょう。その時どのような品揃えにするのかというのも課題の1つです。大手チェーン店とは競合しない、差別化した品揃えで、お客さまにアピールしていこうと考えています」と、松下氏は今後の事業を展望しています。



KIPの支援事業で専門家のアドバイスを受け、新たにPOPを設置。お客さまが気軽に声をかけられるよう、店頭の接客・接客の向上をめざした



“街を元気に”という思いから松下氏をはじめ地元商業者がさまざまなイベントに取り組む（写真は昨年12月の第2回軽トラ市）

### 仲間と一緒に地元の盛り上げに奔走

店舗の経営改善とともに、松下氏が積極的に取り組んでいるのが地域の活性化です。

「店を継ぐために戻ってきたら小田原が寂しくなっていました。生まれ育ったこの街をもっと盛り上げたい。その一心で商店会活動などに参加し、仲間とともに課題を見つけ、動き始めたのです」。松下氏は活動の経緯、動機をこう語っています。

今やすっかり地元に着した朝市“小田原まちなか市場”は、松下氏が知人農家の余剰野菜の打開策として、店舗の軒先で無人販売を行ったことがきっかけで、3年前にスタートしたものです。今では同店のある緑一番街商店会だけでなく、周辺5商店街（ほっとファイブタウン）共同開催の朝市も開催されるまでに発展しました。

「自分の店だけが元気になっても仕方がありません。小田原が盛り上がりたないと意味がないのです。そのために朝市などのイベントを開催しています」と、松下氏は語っています。昨年8月には同商店会の裏の銀座通りで、“軽トラ市”（上記写真参照）を開催。先月には規模を拡大し、第2回を行うなど、松下氏をはじめとした商業者の新たな挑戦は今なお続いています。そして、地元小田原を元気にという熱意も周囲に深く浸透してきています。

#### マツシタ靴店

所在地 小田原市栄町1-16-33

☎ 0465(24)2233

ホームページ <http://www.gyo3.com/>

●問い合わせ 経営企画室 ☎ 045(633)5201

# 業況DIは2期連続改善するも今後は足踏み模様

～平成23年10－12月期 中小企業景気動向調査結果～

平成23年度第3回目の「中小企業景気動向調査」の結果がまとまりましたので、ご報告します。今回も前回同様の上昇幅を示し、業況DIは震災前の水準を上回るまでに回復しました。ただ、今後は改善も止まり、やや下降すると見込んでいます。

## ■主要な調査結果と業種別特徴

今回の総合の業況DIは、前期比5.8ポイント増の▲44.7。前々期から前期にかけてと同じ上昇幅で、東日本大震災直前のDI(▲48.8)を上回る数値となりました。しかし、今後は3ヵ月後が▲47.8(現在比3.1ポイント減)、半年後が▲48.0(同3.3ポイント減)と改善は止まると見込んでいます。なお、現在の経営状況では売上DIが▲31.2(前期比4.2ポイント増)、採算DIが▲39.4(同3.8ポイント増)と、どちらもこの2年半で最も高い数値となっています。

### ●製造業：全体▲27.4(前期比6.7ポイント増)

今回も一般・電気・輸送用機械の県内基幹3業種とその他すべての業種で業況DIが改善しました。ただし、今後は製造業全体で3ヵ月後が▲36.2(現在比8.8ポイント減)、半年後が▲40.6(同13.2ポイント減)と、下降を予測しています。一方、現在の経営状況は売上DIが前期比4.1ポイント減の▲14.8、採算DIが同2.0ポイント減の▲30.5とやや低下するなど、業況の改善とは異なる結果となっています。

業種	業況DI(前期比増減)
一般機械	▲18.3(同11.9増)
電気機械	▲32.9(同3.9増)
輸送用機械	▲19.1(同4.4増)
その他	▲33.6(同6.2増)

### ●建設業：▲46.5(同4.3ポイント増)

震災後2期連続で業況DIが減少していた建設業ですが、今回はようやく増加に転じました。今後を見ると、3ヵ月後は現在比4.8ポイント増の▲41.7としばらくは改善傾向にあります。半年後は逆に同5.5ポイント減の▲52.0と改善は長続きしないと見えています。また、現在の経営状況は売上DIが前期比6.3ポイント増の▲34.6、採算DIが同3.0ポイント増の▲41.7となっています。

### ●商業・サービス業：▲55.7(同5.7ポイント増)

商業・サービス業のなかで回復の遅れていた小売業とサービス業が大きく改善。一方、前回大幅に増加した飲食店はやや減少、卸売業は横ばいという結果でした。今後は商業・サービス業全体で3ヵ月後が現在比1.4ポイント減の▲57.1、半年後が同3.9ポイント増の▲51.8となりました。一方、現在の経営状況は同じく全体で売上DIが前期比9.6ポイント増の▲41.0、採算DIが同8.3ポイント増の▲44.5と大きく改善しています。

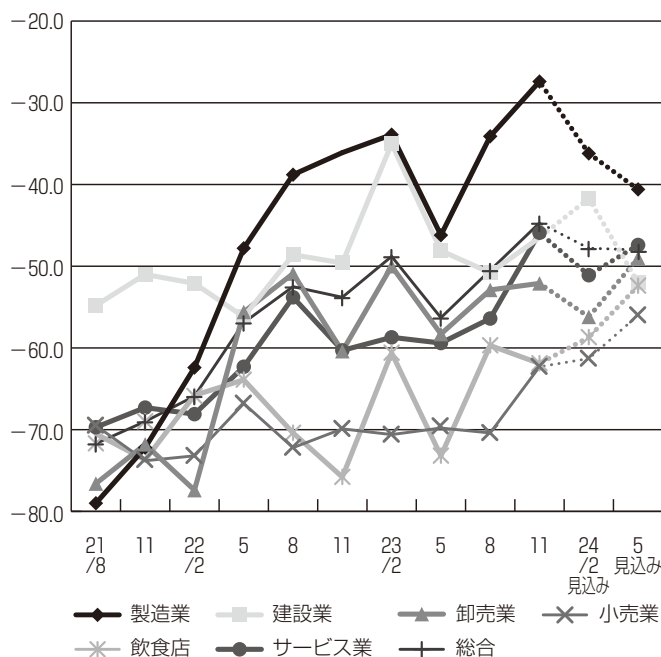
業種	業況DI(前期比増減)
卸売業	▲52.1(同0.8増)
小売業	▲62.3(同8.1増)
飲食店	▲61.9(同2.2減)
サービス業	▲45.9(同10.5増)

## 調査結果と主要業種の業況DI(※)

業種区分	送付数	回収数	回収率(%)	業況DI(前期比増減)
製造業	550	318	57.8	▲27.4(6.7増)
建設業	250	127	50.8	▲46.5(4.3増)
商業・サービス業 (卸売業、小売業、飲食店、サービス業)	1,200	485	40.4	▲55.7(5.7増)
合計(総合)	2,000	930	46.5	▲44.7(5.8増)

(調査期間：平成23年10－12月期 調査時期：同年11月)

※ DI：業況について、「良い」と回答した企業の割合から「悪い」と回答した企業の割合を引いた数値。



### 業種別業況DIの推移

(過去2年半と今後3ヵ月後、半年後の見込み)

調査結果の詳細と過去の結果は、ホームページに掲載しています。

●問い合わせ 経営企画室 ☎ 045(633)5201

ホームページ <http://www.kipc.or.jp/>

# 製造業で円高の影響大きく、 売上・収益の減少につながる

～臨時調査“最近の円高による影響”結果～

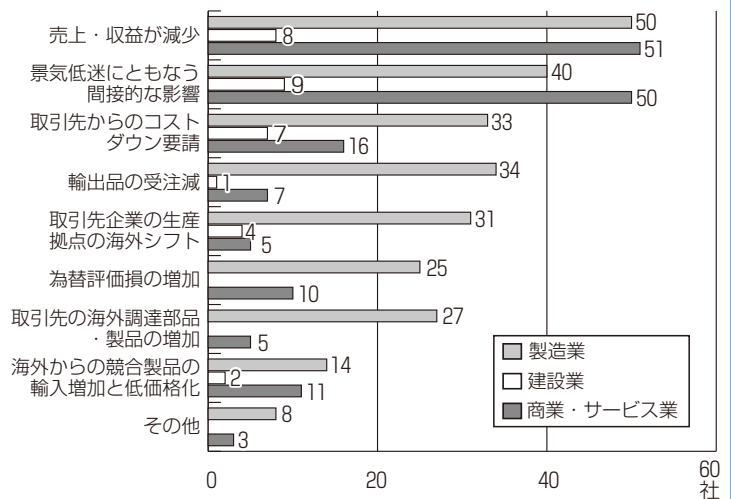
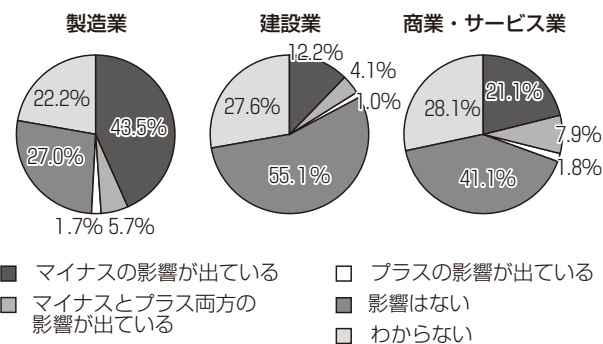
KIPでは、昨年夏以降続く円高の県内中小企業への影響を探るため、平成23年度第3回中小企業景気動向調査とあわせて臨時調査を実施しました。その調査結果をご報告します。

■調査概要 調査時期：平成23年11月、調査対象：県内中小企業2,000社、回答数（率）：659社（32.3%）

## ◆最近の円高による影響とマイナスの影響

製造業の4割以上がマイナスの影響が出るという回答が多岐、建設業と商業・サービス業は影響なしという回答が多く占めました。

一方、マイナスの影響は売上・収益の減少、景気低迷による間接的な影響に業種を問わず多くの回答がありました。



●問い合わせ 経営企画室 ☎ 045(633)5201

## Q&A

### 連載②⑥ “サポートかながわ” 誌上相談

## 中小企業の皆さまが抱える経営上の課題を解決！

KIPには、中小企業の皆さまからさまざまな相談が寄せられています。その窓口となっているのが経営総合相談室。ここで受け取った相談のなかから、皆さまの参考になるものを紹介します。

今回は、資金繰りに関する相談です。

**Q** 新製品が好調ですが、資金繰りが厳しくなりました。今後の対応を教えてください

当社は電子部品メーカーです。長年にわたり取引先と密接な関係を築き、難しい仕様の要求にも迅速に対応し、信頼を得てきました。安定した受注を確保できていたので、技術開発と設備投資にも取り組み、昨年は新製品を開発しました。

これが取引先から好評であったため、取引先以外にも需要が見込めると考え、新規顧客開拓を図り、その結果、新規取引先が増え、売上高も前年比10%アップを実現できました。しかし、ここに来て資金繰りが厳しくなっています。現在はまだ大丈夫ですが、今後の貸倒れも不安です。何かよいアドバイスをお願いします。

**A** 売掛金回収サイトを考慮した営業・債権回収計画を作成してください

御社の資金繰りを見ると、売上高10%増に対して、売掛金が30%増と、売掛金回収サイトなど取引条件の悪化が問題の原因といえます。新規顧客開拓のための長期サイトの手形受入れが資金繰りの圧迫につながったのです。この改善には、売掛金回収サイトの短い取引先の売上構成比を高めることが最も効果的です。ただ、長期サイトの手形も受け入れざるを得ない場合もあるでしょう。その際は、保有売掛債権をチェックした上で貸倒危険性の高い取引先を全件訪問し、返済予定を確認して回収計画を作成する。また、一定金額以上の新規取引先には必ず信用調査を実施してから販売するといった貸倒対策を取ってください。

●問い合わせ 経営総合相談室 ☎ 045(633)5200



# 技術は「心」、品質は「責任」 株式会社ネオテック

～成長するインベスト企業のご紹介～

平成22年度から始まったインベスト神奈川2ndステップ（※1）の支援措置の1つである産業集積支援融資制度（※2）の内容をさらに深く知っていただくため、7月号に続き本制度の前身である産業集積促進融資制度を利用し、今も成長している企業をご紹介します。

今回は、技術は「心」、品質は「責任」を社是に事業を展開する株式会社ネオテックの伊藤 篤社長に、制度利用後の業況や今後の事業展開についてお伺いしました。

**はじめに、産業集積促進融資制度のご利用時期と、本社・研究所の立地場所を教えてください。**

産業集積促進融資は、平成21年度に利用し、総投資額7億3,000万円の内、5億5,000万円の融資を受けました。本社・工場は足柄上郡山北町平山にあります。



伊藤 篤社長

当社が所属している山北工業クラブに対し、県から当制度の紹介がありました。そして、県が主催した立地場所等を紹介するバスツアーに参加したところ、当制度を利用して工場を新設することは山北町の活性化にもつながると思ったのです。あと、低利・長期返済といった点も魅力的でした。

**ありがとうございます。それでは、旧社屋と新社屋の違いを教えてください。**

旧社屋では工場が1フロアしかなく、作業効率が良いとはいえませんでした。新社屋の工場では、自動車部品加工のフロアと医療機器製造・加工のフロアを分け、機能的な生産態勢を実現でき、作業効率も大変高くなりました。

**御社の今後の事業展開について教えてください。**

自動車部品については、海外企業との競争も激化してくると思われますが、顧客の期待に応えていくために、技術力、品質の向上に努めていくつもりです。一方、医療機器に関しては、加工分野でまだ開拓していない分野があるので、今後はその分野の事業展開を予定しています。また、山北町内にある企業ともさまざまな面で連携していこうと考えています。

**最後に、東日本大震災による影響と県の商工労働行政についてのご要望等を聞かせてください。**

震災後はやはり自動車部品に影響が出て、平成23年4～6月の自動車部品加工の生産が減少しましたが、その後は持ち直しています。商工労働行政については、直接関係ないかもしれませんが、当社が所属している医療機器工業会では、ピーク時よりも会員企業が減少しています。もし、お願いできれば、当工業会の活性化のために対策を講じていただければと思います。

**続いて、御社の事業概要についてお聞かせください。**

当社は自動車部品加工、特殊表面処理、医療機器製造・表面処理を行っています。特徴としては、医療機器に親水性コーティング処理（\*）をしていることです。全国的にも数少ない技術だと思っています。

\* 親水性コーティング処理

人体に挿入する機器もあるため、血液や体液等となじみやすいように処理されています。

**自動車部品加工の技術と医療機器製造の技術は同じものなのでしょうか？**

技術は違ったものとなります。医療機器の場合、人体の温度・湿度によって反応するため、恒温・恒湿の作業環境の場所で製造していかなければなりません。

**現在、両分野の生産割合はどのくらいですか？**

医療機器の生産が伸びていて、医療機器関係が6割、自動車部品関係が4割となっています。ちなみにリーマンショック前は割合が逆でした。

**ところで、御社の社是について教えてください。**

当社の社是は、「技術は『心』、品質は『責任』」です。当社は他社から委託されて、加工・表面処理等を行っていますので、委託先企業の信頼と期待に応えていくために、技術力を向上していかなければなりません。そのような意味で、「技術は『心』」と思っています。また、高品質を維持していくために、「品質は『責任』」としています。

**さて、産業集積促進融資制度ご利用のきっかけを教えてください。**



本社・工場(写真上)と自動車部品加工のフロア(同右)

### ※1 インベスト神奈川2ndステップ

平成22～26年度までの5年間を取組期間として、研究開発機能の集積や技術力のある中小企業、豊富な産業人材など、神奈川ならではのポテンシャルを活かしつつ、さらなる成長支援に向け、助成・融資・税制面で企業ニーズに応える施策を総合的に展開しています。

### ※2 産業集積支援融資制度

県内の工業団地などで工場や研究所などを新設または増設しようとする企業に対し、土地の購入や建物・設備の整備に必要な資金を、低利・長期・固定で融資する制度となっています。

融資利率は、対象事業により異なりますが、研究所は当初5年間0.9%以内、6年目以降は1.2%以内、本社・工場は1.5%以内など、全国トップクラスとなっています。また、融資期間は最大15年以内（2年以内の据置期間を含む）と長期の設定が可能です。

詳しくは、県金融課に問い合わせ、またはホームページをご覧ください。

### ～取材を終えて～

今回の取材は、県の融資制度をご利用いただき、今も成長している企業をご紹介します2回目となりました。

伊藤社長の話にありました山北町の活性化のために、町内企業と連携を図っていくとの考えは、今後の地域経済活性化策のなかで大変重要なものであり、県としても後押しのできる政策を考えていかなければならないところです。

作業効率を高めるために設計された医療機器加工工場と自動車部品加工工場では、従業員の方々が生き活きと働き、その様子から同社の社是である「技術は『心』、品質は『責任』」を自覚していることがうかがえ、同社の成長につながっていると感ずることができました。

### 株式会社ネオテック 本社・工場

所在地 足柄上郡山北町平山132-9

☎ 0465(79)1501

ホームページ <http://www.neotec.ne.jp/>

### ●問い合わせ（産業集積支援融資相談窓口）

県金融課資金貸付グループ

☎ 045(210)5681

ホームページ <http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f5779/>

## 低利・固定の有利な県中小企業制度融資をご活用ください

県内中小企業の  
皆さまの事業活動を  
資金面から  
応援します！

県が金融機関と協調し、貸付原資の一部を負担することで、短期資金から長期資金まで、低利・固定での融資を行うのが県中小企業制度融資です。

さまざまな資金メニューで、中小企業の皆さまの資金ニーズにお応えします。ぜひ、ご活用ください。

- ※ 金融機関にお申し込みいただき、金融機関と県信用保証協会の審査の後、融資が実行されます。
- ※ 原則として県信用保証協会保証付きの融資となります。

### 資金メニューのご紹介＜ソーラー発電等促進融資＞

県では、環境に優しく、災害時の電力確保に力を発揮するソーラー発電等の設置を行う県内中小企業の皆さまを、「ソーラー発電等促進融資」で支援しています。

○対象 次のいずれかの要件を満たす中小企業者等

- ①太陽光発電設備（太陽光パネル+その他の周辺機器）を設置する
- ②太陽光発電設備とあわせて蓄電池や簡易な省エネ対策（LED等の高効率照明設備、複層ガラス等の導入）をする
- ③太陽光発電設備とあわせてボイラー、冷凍庫、給湯設備、

コージェネレーション設備等を導入する

○限度額 1,500万円（※）（一般枠）

※ あわせて導入する設備については、太陽光発電設備のための融資額と同額までを限度とします

○融資期間および利率 1年超10年以内（※） 年1.8%以内

※ 運転資金は1年超7年以内で、設備導入に付帯する費用に限りませ

○申し込み 県内の取扱金融機関

●問い合わせ 県内の取扱金融機関または県金融課融資グループ、金融相談員 ☎ 045(210)5677、5695（県金融課）  
ホームページ <http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f5782/>

KIPに  
ご相談ください！

県中小企業制度融資に関する相談は、KIPの経営総合相談室【☎ 045(633)5200】と資金支援課【☎ 045(633)5066】で受け付けています。

制度融資の申請に必要な事業計画書の作成についてもアドバイスします。  
お気軽にご相談ください。

# デザインでお悩みの 中小企業を応援します！

～産技センター「デザイン相談室」のご案内～

独自の技術はあるが、売れる商品開発ができない。良いものはできたが、製品やサービスの特徴をうまく伝えられずに、販売につながらない。このような中小企業の皆さまが商品開発で抱えられているお悩みを、デザインの視点やアプローチでお手伝いするため、県産業技術センターでは、神奈川中小企業センタービル6Fに「デザイン相談室」を設置し、専門のデザイン相談員による無料相談を行っています。

「デザインに興味はあるが、何をどのように相談したらよいかわからない」など、どんなことでも結構です。デザインでお悩みの皆さま。お気軽にご相談ください。

## デザイン相談員が次のような課題の解決を お手伝いします！

相談員は、色や形の見た目の美しさを追及する作業ではなく、関係機関との連携を図りながら次のようなさまざまな課題を解決し、付加価値を生み出すためのアドバイスを行っています。

### ● 自社技術を生かしたい

- ・機能を整理する、使いやすくする、美しさを与える
- ・安心感や信頼性を高める、新しい用途を開発する

### ● 売上を伸ばしたい

- ・ニーズにあった形状にする、商品の魅力を訴求する
- ・多様な媒体で企業や商品をアピールする

### ● 魅力ある会社になりたい

- ・新しい発想を促す、ものづくりのプロセスを立案・設計する
- ・新しいネットワークをつくる、企業やブランドイメージを構築する、知名度・認知度を上げる



デザイン相談から発展した支援事例

◆相談日時：月・水・金（祝祭日は休み、金曜日のみ第2、4）  
9：30～16：30

●問い合わせ デザイン相談室

横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル6F

☎ 045(633)5204 FAX 045(633)5109

## 創業期・製品化支援モデル事業のご案内

製品開発をめざす県内の中小企業・個人等の皆さまを、県産業技術センターが技術支援・事業化支援の両面からサポートします。単独で解決困難な技術課題に対して、当センターが保有する技術と設備機器を活用し、迅速に製品開発を進めていただくための事業です。

製品開発の計画をお持ちの方は、ぜひご検討ください。

### ◆募集対象

- ・一般テーマ：数件  
…当センターの設備機器および事業化支援制度を活用して製品開発を行います。
- ・製品開発室使用テーマ：7件  
…一般テーマの支援内容に加え、当センター内の製品開発室に入居して製品開発を行います。

### ◆支援内容

- ・支援担当者の配置
  - ・製品開発室の提供（有料）
  - ・分析試験・機器使用料を100万円限度に県が負担
  - ・当センター主催のものづくり技術経営セミナーへの参加
  - ・テクニカルショーヨコハマへの開発製品の出展 等
- ※ 詳細につきましては、お気軽にお問い合わせください。



製品開発室の外観

◆支援期間 原則として1年間（平成24年度内）

### ◆申込書類

事業計画書（指定する書式のもの）、会社登記簿謄本、直近2期分の決算書（貸借対照表、損益計算書および製造原価報告書）、技術資料、パンフレット類など

### ◆募集期間

1月23日（月）～2月10日（金）

※ 応募される前に当センターで対応可能な技術分野か、またどのような試験機器が利用可能かをお問い合わせください。

●問い合わせ 技術支援推進部開発支援室

☎ 046(236)1500 FAX 046(236)1526

この事業は、平成24年度県予算の議決に基づき正式に実施が決定されますので、支援内容は変更される場合があります。



## 2011「あなたのまちの、いいお店。」35店舗をご紹介します!

～平成23年度「神奈川県優良小売店舗」表彰のご案内～

県では、昨年11月22日（火）、県庁大会議場で平成23年度「神奈川県優良小売店舗」の表彰式を開催しました。今年度、表彰を受けた35店舗をご紹介します。

この表彰は、県内の地域経済の発展に寄与している中小小売業および飲食業を営む店舗を顕彰するものです。県と(社)神奈川県商工会議所連合会および神奈川県商工会連合会との共催により、毎年実施しています。

36回目の今年も、真心尽くしたサービスと味や技が自慢の35店舗を表彰しました。いずれも個性ある名店ばかりです。皆さまの地元で頑張っている35の店舗を、ぜひ応援してください!

なお、詳細は県のホームページをご覧ください。

●問い合わせ

県商業流通課商業まちづくりグループ ☎ 045(210)5612  
ホームページ <http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f360962/>



表彰式での記念撮影

神奈川県知事・(社)神奈川県商工会議所連合会云頭連名表彰(25店舗)

神奈川県知事・神奈川県商工会連合会食糧連名表彰10店舗

	店舗名(屋号)	業種	所在地	TEL
1	インポートshop TAISEIDO (たいせいどう)	織物・衣類・身の回り品小売業	横浜市南区高根町1-3	045(252)8846
2	御菓子処 菊月	菓子小売業(製造小売)	横浜市金沢区寺前1-8-1	045(701)9953
3	グリーンステージ	花・植木小売業	横浜市緑区いぶき野7-1	045(982)8741
4	港屋上原酒店(みなとやうえはらさけてん)	酒小売業	横浜市中区新山下1-4-19	045(641)3421
5	渡邊園	茶類小売業	横浜市旭区二俣川2-58	045(363)6648
6	高喜商店(たかきしょうてん)	乾物小売業(製造小売)	川崎市中原区木月4-3-5	044(411)2339
7	グリーンパーク	花・植木小売業	川崎市多摩区中野島6-25-6	044(933)8184
8	村田園	茶類小売業	川崎市高津区溝口3-12-7	044(822)2046
9	レストラン ティファ	食堂・レストラン	相模原市緑区橋本6-7-7 グリーンキュービックビル1、2F	042(771)8133
10	ミートショップ 寿々木(すすき)	食肉小売業および卵・鳥肉小売業	相模原市緑区橋本3-14-13 (協)フォレストショッピングセンター内	042(772)4129
11	ふらんす菓子 ラ・ボンム	菓子小売業(製造小売)	横須賀市大津町1-17-11	046(833)2007
12	いづみや 衣笠本店	菓子小売業(製造小売)	横須賀市衣笠栄町1-70	046(852)5382
13	カフェ KO-BA(こーば)	喫茶店(カフェ)	藤沢市高倉731	0466(43)4641
14	パイニイ	パン小売業(製造小売)およびレストラン	藤沢市片瀬2-2-2	0466(27)2231
15	Sweet Berry(すういーとべりー)	菓子小売業(製造小売)	小田原市久野71-4	0465(35)5516
16	有限会社 たかのす	他に分類されないいじゅう器小売業	足柄下郡箱根町湯本茶屋222-1	0460(85)6210
17	生活の道具 なべや	荒物小売業	平塚市紅谷町3-19	0463(21)0206
18	Doo-SKIP(どーすきっぷ)	子供服小売業	平塚市虹ヶ浜13-11	0463(34)5181
19	手造りそば あり田	そば・うどん店	厚木市岡田5-17-17	046(228)0438
20	鬼頭天薫堂(きとうてんくんどう)	他に分類されないその他の小売業(香および薫物線香ならびに芳香剤の製造・販売)	鎌倉市雪ノ下1-7-5	0467(22)1081
21	寺田薬局	医薬品小売業および調剤薬局	茅ヶ崎市新栄町2-25	0467(82)2220
22	和田呉服店	呉服・服地小売業	秦野市本町1-4-11	0463(81)5298
23	魚音(うおおと)	鮮魚小売業	三浦市三崎5-1-8	046(881)3223
24	ダイエーレコード	がん具・娯楽用品小売業およびたばこ小売業	大和市福田2-2-3	046(267)4045
25	原木家具の祭り屋(げんぼくかぐのまつりや)	家具小売業(製造小売)	海老名市国分寺台1-13-4	046(232)0036
1	ジョニー湘南	洋品雑貨・小間物小売業	逗子市逗子5-3-39	046(845)8947
2	米屋さやらぶき本舗(こめやさやらぶきほんぼ)	豆腐・かまぼこ等加工食品小売業	伊勢原市大山345	0463(95)2048
3	小松や	料亭	中郡二宮町二宮836	0463(72)4770
4	メレプーア	子供服小売業	足柄下郡湯河原町土肥5-18-38	0465(62)7360
5	エレファン	菓子小売業(製造小売)	座間市入谷5-1881-2	046(253)1717
6	比留川米店(ひるかわこめてん)	米穀類小売業	綾瀬市深谷中6-1-72	0467(78)0020
7	ガトウミヤ洋菓子店	菓子小売業(製造小売)	愛甲郡愛川町中津7488-1	046(285)1502
8	カフェ リーフス	喫茶店	足柄上郡山北町山北3421-2	0465(75)0222
9	小坂モーターズ	自動車小売業	相模原市緑区川尻1962-4	042(782)4188
10	飲み処 食い処 ごん兵衛	酒場	相模原市緑区と瀬本町64	042(684)3296

# 自分の会社の経営内容を知ろう

## 財務分析の基本⑱ ～設備投資計画の考え方について（その2）～

前回（11月号）では、企業経営にとって重要な要素である設備投資について取り上げ、その2つの考え方と自社の経営内容から投資内容を判断することの重要性、ケーススタディを使った設備投資の妥当性を評価するために必要な「回収期間法」を解説しました。

今回は、（1）前回解説の補足、（2）資金調達方法や調達条件についての検討、（3）回収期間法以外の設備投資の評価方法について解説します。

### （1）前回解説の補足～回収期間法とケーススタディ補足

「回収期間法」とは、設備投資の効果を投資の回収期間で測定することで、いくつかの投資案件を検討し、自社にとって最適なものを選択する際に用いられます。

**回収期間＝設備投資額÷平均予測キャッシュフロー（年間）**

ただし、中小企業は毎期キャッシュフローの変動が激しいことが多いので、前回（11月号P13）の「設備投資計画評価表」を作成し、計算することが望ましいでしょう。ここでのキャッシュフローは、簡易フリーキャッシュフロー（簡易FCF＝税引後利益＋減価償却費）を使用するのが一般的です。

また、前回のケーススタディでは、便宜上説明を簡略化した箇所がいくつかありました。実務で計算する場合は、表1の点を考慮して適宜修正してお使いください。

### （2）資金調達方法や調達条件についての検討

前回の「設備投資計画評価表」は、その効果を評価するためのものです。この表の作成により、投資予定額の3億円の回収期間が明らかになりました。

しかし、設備投資計画を作成する場合は、効果だけではなく資金調達方法や調達条件の検討が大切です。前回のケーススタディに登場した湘南製作所（仮称）のケースでは、投資予定額3億円を全額自己資金で賄うか、全額金融機関からの融資で調達するか、あるいは両者をどのような割合で併用するかにより、経営への影響は大きく違ってきます。これまで当教室で説明してきた経営指標を使って考えてみましょう。

右図は、同社の貸借対照表（B/S）の概要です。そのうち左上は同社の前期B/Sです。今回は説明を簡略化するため流動資産、固定資産、流動負債、固定負債、自己資本の5つの項目に勘定科目を要約しています。

前期末時点の同社の経営内容は、流動比率200%、自己資本比率37.5%で、経営上の安全性は良好な状態です。ここで3億円を全額自己資金で捻出した場合、今期の予測B/Sは同図の「予測1」になると予測されます（注2）。4億円の流動資産のうち3億円が設備投資に回るので、流動資産は1億円に減少し、固定資産は新規投資増加分3億円＋既存固定資産4億円＝7億円に増加します。金融機関からの融資を受けないため、資産合計額は変化せず、8億円のままとなります。

そして、流動比率と自己資本比率は、次の通りです。

- 流動比率（財務上の短期的な安全性を示す指標）  
＝流動資産÷流動負債＝1億円÷2億円×100＝50%
- 自己資本比率（財務上の長期的な安全性を示す指標）  
＝自己資本÷資産＝3億円÷8億円×100＝37.5%

表1 前回のケーススタディの補足説明

前回の説明内容	考慮事項
次期以降の既存設備の減価償却費が一定な点	・ 既往設備の耐用年数や残存価格の合計額等によって、毎期の金額は変動します。 ・ 別途設備投資や更新計画がある場合は、そちらも反映させる必要があります。
次期以降の支払利息が一定な点	・ 本来は既往借入金の返済状況によって変動します。 ・ 今回の設備投資の原資を新規融資で行う場合は、融資残高が増加するので支払利息が増加します。
業績を既存工場と新工場で一括して予測している点	・ 両工場では固定費と変動費の水準（経費構造）が異なる可能性があります（注1）。
既存工場から得られる収益や簡易FCFを毎期固定で予測している点	・ 既存工場の収益、簡易FCFは新工場と別に毎期予測することが望ましいです。
別プランの提示がない点	・ 本来は別プランを比較検討します。

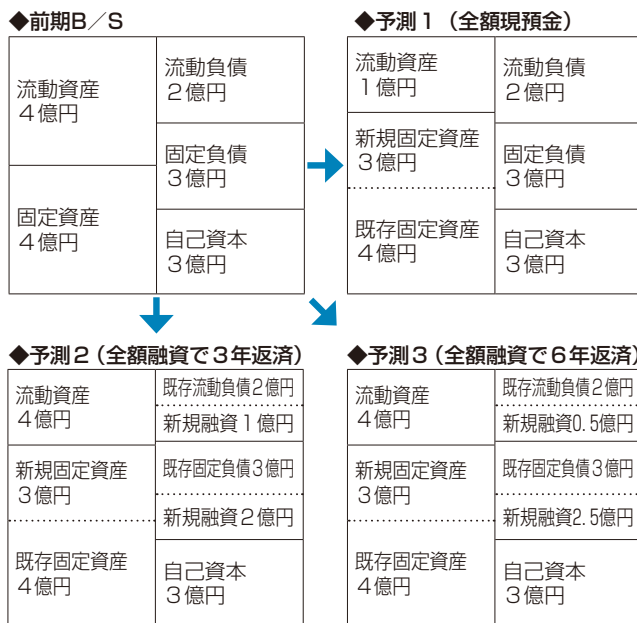


図 湘南製作所（仮称）の設備投資後の予測B/S

流動資産が200%から50%に大幅に低下し、安全性の目安である130%を大幅に下回る結果となりました。この投資計画では、3億円もの現預金を一気に投資したため流動資産が枯渇し、短期的な安全性に大きな危険が生じると予測され、計画は無謀なことがわかります（注3）。なお、自己資本と資産の金額に変化はないので自己資本比率は変わりません。

次に、投資予定額の3億円を全額金融機関から3年返済の条件で融資を受ける場合を考えてみます。図の「予測2」を見て

ください。この場合は、金融機関からの融資で設備投資を行うため、流動資産は4億円で変化せず、固定資産が3億円増加するので、1年間で資産は8億円から11億円に増加します。一方、負債は借入金3億円を3年で返済する計画とし、1年以内に返済する短期借入金が1億円、それ以上の期間で返済する長期借入金が2億円の場合、流動負債は1億円、固定負債は2億円それぞれ増加となります。

この状態で流動比率と自己資本比率を計算してみます。

$$\text{流動比率} = 4 \text{ 億円} \div 3 \text{ 億円} \times 100 = 133\%$$

$$\text{自己資本比率} = 3 \text{ 億円} \div 11 \text{ 億円} \times 100 = 27.3\%$$

3億円を金融機関から調達することで、手元資金が維持でき、流動比率は安全性の目安の130%を維持できています。自己資本比率は借入金によって負債が増加しているため約10%減少していますが、目安の20%は維持しているため、「予測1」と比べると財務上の安全性は大幅に上昇しています。

ちなみに、「予測3」は「予測2」と同じ条件で、金融機関への返済期間を倍の6年とした場合の1年後の予測B/Sです。金融機関への年間返済額が半分になるので流動負債の増加分が減少し、その結果流動比率が133%から160%へと上昇し、短期的な安全性がさらに向上する結果となりました。

これらの予測は、資金の調達方法によりどのように財務上の安全性が変化するかを理解するためのものなので、実務上では安全性以外の経営指標を使う等、もう少し細かな分析や勘定科目の使用が必要になります。

この結果を前回解説した「設備投資計画評価表」に加えたのが表2です。スペースの都合上、途中経過を省略していますが、「簡易FCF」が同社のFCFの年間予測額、「前期との差額」がそのうち今回の設備投資による増加分になります。

同表の下部に「金融機関への返済計画」として、「予測2（3年返済）」と「予測3（6年返済）」の返済金額を記載し、それぞれを簡易FCF増加分（※）と比較してみました（注4）。

まず、「予測2」は次期から3期後の簡易FCF増加分との差額が▲24～▲56百万円となっています。これは金融機関への年間返済額が新工場で獲得できる年間の予測キャッシュを上回っている状況を意味します。次期に新工場での獲得キャッシュをすべて返済に回しても56百万円のキャッシュが不足し、その分は現預金の取り崩しでの対応となります。

これが「予測3」では、次期だけは「簡易FCF増加分との差額」が▲6百万円となるものの、2期後からはマイナスが消滅します。これは「予測2」よりも返済期間が長期なので、次期を除いて新工場で獲得できる年間の予測キャッシュの範囲で、金融機関への年間返済額が賄えることを意味します。返済期間は2倍になりますが、数値上は新工場への投資をここで得た簡易FCFでほぼ対応できるので、「予測3」の安全性はかなり高い計画といえるでしょう。

### （3）補足説明～回収期間法以外の設備投資の評価方法など

実務で使用する際の留意点としては、第1に今回解説したように、投資効果の予測と資金調達計画をセットで考えることです。どれほど優れた投資計画でも資金調達できなければ絵に描いた餅ですし、手元資金で強行した場合、経営の拡大どころか深刻なダメージを与えてしまいかねません。

第2に、最初から計画を1つに絞り込まず、複数の設備投資計画を比較検討することです。経営者1人で立案した計画が最適とは限りません。工場長や役員、中堅社員、顧問税理士、時にはメインバンクの意見からも思わぬアイデアが生れることもあります。最初から計画が1つの場合は、次期以降の収支予測を複数用意して検討するのも有効です。

第3に、計画全体を大きく把握し、必要に応じて細部を調整していくことです。特に現在のように今後の見通しが立てにくい場合は、細かな予測金額を設定してもあまり意味はありません。設備投資計画の一番の目的は、収益の正確な予測ではなく、経営上の合理的な意思決定を行うためにあります。

前回と今回解説した回収期間法以外の設備投資の効果測定方法としては、「現在価値法（ディスカウントキャッシュフロー法：DCF法）」や「会計的投資利益率法（ROI法）」があります。両者とも回収期間法にはない長所を持っていますが、実務上はあまり使われていません（注5）。このうちDCF法は、貨幣の時間的な価値に注目するものです。例えば設備投資の結果、次期に獲得できる10百万円と、5年後の10百万円では、利息を考えれば同じ価値ではありません。よってDCF法では将来獲得が見込まれるキャッシュ（将来価値）を、現在価値に割り引いて（ディスカウント）効果を測定します。

表2 湘南製作所（仮称）における設備投資計画評価表（単位百万円） [2011.11月号再掲]

勘定科目／ 会計期間	前期実績	今期予測	次期	2期後	3期後	4期後	5期後	備考
売上高	1,000	1,000	1,100	1,200	1,300	1,400	1,470	
<< 途中省略 >>								
簡易FCF	70	81	114	129.5	146	163	173	
前期との差額	0	11	44	59.5	76	93	103	簡易FCF増加分（※）
差額累計	—	11	55	114.5	190.5	283.5	386.5	
金融機関への返済計画								
返済期間3年	—	—	100	100	100	0	0	年間1億円ずつ返済
簡易FCF増加分との差額	—	—	▲56	▲40.5	▲24	93	103	
返済期間6年								
返済期間6年	—	—	50	50	50	50	50	年間5千万円ずつ返済
簡易FCF増加分との差額	—	—	▲6	9.5	26	43	53	

（注1）例えば、旧工場では汎用設備の比率が高いため人件費の割合が高く固定費の水準が高い、または地代家賃の水準が高く固定費の水準が高い等が考えられますので、新工場が稼働する次期から経費構造の再計算が必要となる場合があります。

（注2）今回の予測では、便宜上、収益向上による自己資本比率の増加は考慮していません。

（注3）実際には今期中で手元資金が枯渇するので、金融機関から融資を受けることになるでしょう。

（注4）便宜上、金融機関への返済額は次期期首に開始されるとします。

（注5）ある大学の調査では、大手企業の8割以上が、設備投資の意思決定に回収期間法を使用していると回答しています。



# 障害者雇用に取り組む中小企業を応援します!

～「かながわ障害者雇用優良企業」募集のご案内～

県では、障害者雇用に積極的に取り組む中小企業等を「かながわ障害者雇用優良企業」として認証する事業を実施し、認証企業を随時募集しています。

認証企業はシンボルマークなどを活用し、対外的にアピールできるほか、県の中小企業制度融資の優遇措置も受けられます。

障害者を雇用する中小企業の皆さま、ぜひ申請をご検討ください。



「かながわ障害者雇用優良企業」のシンボルマーク

## ◆「かながわ障害者雇用優良企業」の要件

次に掲げる要件をすべて満たしている企業等です。

- ①企業全体の常用雇用労働者数が300人以下であること。
- ②県内における事業所所在地集計の障害者雇用率が3.6%以上であること（常用雇用労働者数56人未満の企業については、障害者を2人以上雇用していること）。
- ③特例子会社ではないこと。
- ④労働関係法規を遵守していること。
- ⑤公序良俗に反する事業を行っていないこと。

## ◆「かながわ障害者雇用優良企業」のメリット

- ①シンボルマークなどを会社案内や名刺等に使用できるので、「かながわ障害者雇用優良企業」であることを対外的に明示することができます。
- ②県がホームページ等を通じて、企業名や取組内容などを広く紹介します。
- ③ハローワークの求人票の会社特性欄に、「かながわ障害者雇用優良企業」であることを記載できます。
- ④県の中小企業制度融資「フロンティア資金（雇用対策特別融資）」を、優遇金利1.8%以内で受けることができます。

## ●「かながわ障害者雇用優良企業」認証企業一覧

日本理化学工業(株)、(有)伊藤苑、(福)進和学園、(株)旭商会、(株)大協製作所、龍屋物産(株)、サクラ電線工業(株)、湘南環浄サービス(株)、(福)誠幸会、(医)杏月会、(株)元気もりもり山森農園、(福)光友会、光文図書(株)、ニッパ(株)、(株)ホマレファースト、(福)三育福祉会、(株)小保木製作所、(有)ハニードライ、(医)じゅらく会、(株)丸井電設、協和工業(株)、ビルコン(株)、(医)愛生会有馬病院、(福)神奈川県厚生協会、(福)地域福祉協会、(株)ゆたかなビレッジ、文明堂製菓(株)、富士通デザイン(株)、(特非)障害者雇用部会、ひまわり交通(株)、(株)土屋製作、(株)ミナミ、(株)ベスト（平成23年11月1日現在、33社、認証順）

※ 各認証企業の取組内容、詳しい申請方法等はホームページをご覧ください。

## ●「かながわ障害者雇用優良企業」の雇用事例を紹介するDVDを提供します!

龍屋物産(株)、光文図書(株)、(株)元気もりもり山森農園の雇用事例を通して、障害者雇用のポイントや、障害者雇用がもたらすメリットなどをわかりやすく説明しています。ご希望の方は県雇用対策課にお問い合わせください。

## ●問い合わせ

県雇用対策課障害者就業支援グループ

☎ 045(210)5871

ホームページ

<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f6949/p22677.html>

かながわ障害者雇用優良企業

## 必ずチェック最低賃金! 使用者も労働者も～神奈川県最低賃金改正のお知らせ～

県内すべての事業所に適用される神奈川県最低賃金が昨年10月に、また12月には塗装製造業など6業種に適用される特定（産業別）最低賃金が改正されました。

なお、特定（産業別）最低賃金については、適用除外（\*）があります。ご注意ください。

最低賃金件名	改定額 (時間額)	効力発生日
神奈川県最低賃金	836円	平成23年10月1日
特定最低賃金	塗料製造業	平成23年12月21日
	鉄鋼業	
	一般機械器具製造業(※)	
	電気機械器具製造業(※)	
	輸送用機械器具製造業	
自動車小売業	842円	

(※)は略称。正式名称はホームページをご参照ください。

● 特定最低賃金のうち、非鉄金属製造業については、改正決定の必要性の有無について審議中のため、平成23年10月1日から改正決定されるまでの間は、神奈川県最低賃金（時間額836円）が適用されます。

### \*適用除外者〈特定（産業別）最低賃金〉

- 18歳未満または65歳以上の者
- 雇い入れ後6ヵ月未満（ただし、自動車小売業については3ヵ月未満）の者であって、技能習得中の者
- 清掃、片付けその他これらに準ずる軽易な業務に主として従事する者 等

### ●問い合わせ

• 神奈川労働局労働基準部賃金課 ☎ 045(211)7354

ホームページ [http://kanagawa-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp/\\_16243/saichin.html](http://kanagawa-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp/_16243/saichin.html)

• 県内最寄りの労働基準監督署

• 県労政福祉課労政グループ ☎ 045(210)5739

## 施設案内

横浜での会議・研修・講演会・  
各種大会などの開催をサポートします

かながわ労働プラザ（Lプラザ）は、勤労者の方をはじめ、県民の方々に余暇活動や文化活動、会議・研修、交流の場などを提供する施設です。お気軽にご利用ください。

## ○施設概要

多目的ホール・特別会議室・大小会議室・和室・音楽スタジオ・トレーニングルーム・ギャラリー・労働情報コーナー・駐車場

## ○休館日

毎月第4月曜日（駐車場を除く）、  
年末年始（12月28日～1月4日）

## ●申し込み・問い合わせ

神奈川県立かながわ労働プラザ  
〒231-0026 横浜市中区寿町1-4 ☎ 045(633)5413  
ホームページ <http://www.zai-roudoufukushi-kanagawa.or.jp/l-plaza/>



## イベント

「協創マッチングフォーラム」開催の  
ご案内

かながわサイエンスパーク(KSP)では、全国の「光る技術をもつ」中小ベンチャー企業24社のプレゼンテーションや、「繋がるクルマ・住宅・社会」と題したEV、スマートハウス、スマートグリッドに関するシンポジウムを開催します。

プレゼン、シンポジウムはどなたでも聴講可能ですので、新しい事業の展開を模索されている方、ぜひご参加ください。

○日時 1月25日(水)10:00～17:00

○会場 東京ステーションカンファレンス 5F会議室

○費用 無料

○定員 400人（申込先着順）

○申し込み ホームページからお申し込みください。

## ●問い合わせ

(株)ケイエスピー企画事業部企画課 ☎ 044(819)2001  
ホームページ <http://www.ksp.or.jp/k-forum/>

## 調査

## 毎月勤労統計調査にご協力を！

「毎月勤労統計調査」は、雇用・給与・労働時間の毎月の変動を明らかにするために実施する国の最も重要な調査の1つです。調査結果は、内閣府の景気判断や雇用保険給付額の算定資料等に活用されます。

調査対象となりました調査区および事業所におかれましては、調査へのご協力をお願いします。

## ○第一種事業所調査（本調査）

厚生労働大臣が指定する常用労働者30人以上の事業所が対象の調査です。平成24年1月分から新たに始まる調査では、平成27年1月分までの調査期間中、雇用等の変動について毎月調査を実施します。

## ○第二種事業所調査（本調査）

厚生労働大臣が指定する常用労働者5人以上29人以下の事業所が対象の調査です。平成24年1月分から新たに始まる調査では、平成25年6月分までの調査期間中、雇用等の変動について毎月調査を実施します。

## ○第二種事業所調査（名簿作成調査）

平成24年7月分から新たに始まる調査の準備として、1月31日(火)を基準日とし、調査区内の事業所名簿を作成する調査を実施します。

※ 第一種事業所調査は郵送調査で実施し、第二種事業所調査は知事が任命した統計調査員が事業所を訪問し、原則として聞き取り調査で実施します。

## ●問い合わせ

県統計センター労働統計課 ☎ 045(210)3237

## 調査

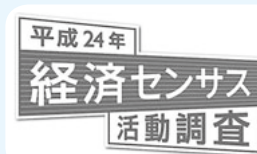
平成24年経済センサスー活動調査  
にご協力を！

2月1日(水)に実施する「経済センサスー活動調査」は、全国すべての企業・事業所を対象に、全産業分野の経済活動を同一時点で網羅的に把握する“経済の国勢調査”です。

調査の結果は、国の各種行政施策をはじめ、地域の産業振興や商店街の活性化など、地域行政のための基礎資料として利活用されます。

支社等のない事業所等には調査員が直接訪問し、調査票を配布、回収します。支社等を有する企業等には国、県、市が民間事業者を通じて本社等に調査票を郵送し、インターネットまたは郵送で回答していただきます。

調査票を1月末日までにお届けしますので、2月1日(水)以降に提出してください。ご協力をよろしくお願いします。



## ●問い合わせ

経済センサスー活動調査  
コールセンター  
☎ 0120(44)1034  
ホームページ <http://www.stat.go.jp/data/e-census/campaign/index.htm>  
県統計センター事業所統計課  
☎ 045(210)3233

## 2月の巡回あっせん相談

製造業等の中小企業の皆さま  
県内各地で新規取引先・  
発注案件をご紹介します！

KIPでは、毎月、県内関係機関にご協力いただき、皆さまのお近くで新規取引先や発注案件をご紹介します「巡回あっせん相談」を実施しています。

取引あっせんのほか、県内外発注企業の動向等の情報提供、取引全般にわたる相談も受け付けています。

この相談をきっかけに取引が拡大した企業も数多くありますので、ぜひご利用ください。

※ 巡回あっせん相談は、KIPの川崎・相模原両駐在事務所でも実施しています。

あわせてご利用ください。

### ■開催場所・日時

開催場所	開催日	時間
藤沢商工会議所	7日(火)	13:00~16:00
小田原箱根商工会議所	8日(水)	13:30~16:00
横須賀三浦地域県政総合センター	9日(木)	13:00~16:00
秦野商工会議所	10日(金)	13:00~16:00
茅ヶ崎商工会議所	20日(月)	13:00~16:00
大和商工会議所	21日(火)	13:00~16:00
平塚市役所 市民相談室	21日(火)	13:30~16:00
川崎駐在事務所(*1)	毎週木曜日	13:00~17:15
相模原駐在事務所(*2)	8日(水) 22日(水)	13:00~16:00

\*1 川崎市産業振興会館 6F

\*2 相模原商工会議所 3F相談室内  
(相模原商工会議所の専門相談として実施しています)

●問い合わせ 取引振興課 ☎ 045(633)5067

湯河原温泉 万葉荘

万葉荘は  
よりお客さま本位の宿に  
変わります

広間でのカラオケの価格を  
利用しやすいお値段にしました!

お客さまからいただいております、「広間でのカラオケ代を安くしてよ」というお声に応え、今年1月より、広間(大広間、中広間)でのカラオケ利用料を値下げさせていただくことにいたしました。

ご利用しやすいお値段となりましたので、グループの皆さまで、ぜひご利用ください。

◆通信カラオケ 料金:5,775円(税、サービス料込)

万葉荘イベントのご紹介  
＜第七回お香を聞く会＞



湯河原も梅の季節となりますので、梅にちなんだ香席「貫之香(つらゆきこう)」を行います。前々回から好評の季節に合わせた広間の飾りも含めて、平安の息吹を感じていただければと思います。

前回も初めての方のご参加が多かったので、万葉荘へご宿泊のお客さまも、ぜひご参加ください。椅子もご用意しております。

■日時 2月20日(月)  
11:00~15:30

■会費 5,500円  
(昼食、抹茶、和菓子、記念品付)



●ご予約・お問い合わせ ☎ 0465(62)3755  
湯河原温泉 万葉荘 足柄下郡湯河原町土肥3-6  
E-mail  
info@manyoso.jp

万葉荘

検索

## CONTENTS

- 2012年 年頭のごあいさつ 1
- 「かながわビジネスオーディション2012」  
発表プラン・アイデア決定! 2
- 2月は神奈川県中小企業活性化推進月間です! 3
- 「テクニカルショウヨコハマ2012」開催のご案内 3
- 中小企業新商品開発等支援事業補助金のご案内 3
- 企業インタビューシリーズ⑤ 4
- 連載⑧ “人と街、お店” を元気にする商い 5
- 平成23年10-12月期 中小企業景気動向調査結果 6
- 臨時調査 “最近の円高による影響” 結果 7
- 連載⑥ “サポートかながわ” 誌上相談 7
- 成長するインベスト企業のご紹介 8、9
- 低利・固定の有利な県中小企業制度融資を  
ご利用ください 9
- 技術開発のパートナー 産技センターレポート 10
- 平成23年度「神奈川県優良小売店舗」表彰のご案内 11
- 中小企業のための経営教室2012 12、13
- 「かながわ障害者雇用優良企業」募集のご案内 14
- 神奈川県最低賃金改正のお知らせ 14
- KANAGAWA INFORMATION 15
- 2月の巡回あっせん相談 16
- 湯河原温泉 万葉荘 16